

消防署からの大切なお知らせです。

上伊那の消防署は、 平成27年4月1日より 上伊那広域消防となります。

「消防の広域化」ってどんなこと？

1 6消防署が一つの本部で統括されます

現在の各消防署の位置は、伊那消防署の移転を除き変わりません。名称は、伊那消防署、高遠消防署、辰野消防署、箕輪消防署はそのままし、伊南行政組合の北消防署と南消防署は、それぞれ「伊南北消防署」「伊南 南消防署」に変更します。また消防本部は、移転する伊那消防署に併設されます。

消防の指揮命令系統は上伊那一本に統一され、6消防署は市町村の枠を越えて活動することになります。約19万人の郡市民の皆様にとっては、6消防署全てが「我が街の消防署」ということになります。

2 消防署の消防車・救急車の配置は変わりません

消防署の指揮命令系統は統一されますが、各消防署の消防車や救急車の台数などは現状のままで運用します。

3 消防団や同報無線の放送もこれまでどおりです

8市町村の消防団は、これまでどおり各市町村の範囲を管轄として活動します。消防団を統括し、団員を指揮監督するのは、それぞれの市町村の「消防団長」です。火災など災害の同報無線も、これまでどおり放送されます。



広域化(H27.4.1～)

上伊那広域消防本部

管轄人口 189,678人
組織 1本部、6消防署
消防職員 207人

伊南行政組合消防本部

管轄人口 56,921人
組織 1本部、2消防署
消防職員 66人

伊那消防組合消防本部

管轄人口 132,757人
組織 1本部、4消防署
消防職員 141人



「消防の広域化」で何が変わるの？

1 「住民サービスの向上」

- ① 災害現場へより早く到着するために、現在の管轄区域を見直し、現場に最も近い消防署から出動します。
- ② 119番の受信を「消防指令センター」に一本化することにより、災害現場の特定が短時間で可能になり、通報から出動、現場到着までの迅速化が図れます。
- ③ 災害の規模や種別に応じ、各消防署から複数の部隊や特殊装備を積載した部隊が出動します。
- ④ はしご車、化学消防車等の特殊車両が、上伊那全域へ出動できるようになります。
- ⑤ 上伊那地域メディカルコントロール協議会^{※1}との連携で救急活動の統一が図られ、より質の高い救急業務が提供できます。



※1 上伊那地域メディカルコントロール協議会とは

メディカルコントロールは、救急現場から医療機関に搬送する間に救命士等が行う医療行為について、医師が指示・指導・助言及び検証することで、その質を保証するためのものです。上伊那地域では上伊那医師会、伊那中央病院、昭和伊南病院、辰野病院などと連携し、地域の救命率向上を目指した活動を行っています。

2 「消防体制の基盤」

- ① 広域化により組織が大きくなることから、地震等による大災害への対応力や広域的な支援体制が強化されます。
- ② 消防本部の一本化が、事務の効率化や集約化に繋がり、経費の軽減が図れます。
- ③ 統一的な指揮により効果的な部隊運用ができます。
- ④ 予防体制の一本化により、専門的かつ効果的な予防活動ができます。



3 「通信指令業務の集約化、119番の受信を一カ所に」

- ① 火災、急病、事故…、緊急時には「119番」。電話のかけ方は変わりません。
- ② 上伊那全域の119番通報は、新たに整備される消防本部内の「消防指令センター」に繋がります。
- ③ 各消防署は、消防指令センターからの指令により出動します。
- ④ 火災の場合には、近くの消防署だけが出動するのではなく、同時に複数の消防署から出動します。救急車は一番近くの消防署から出動します。



4 「消防財政の効率化・整備費用の軽減化」

- ① スケールメリットにより、将来的に常備消防費の効率化や経費の軽減が図れます。
- ② 将来、人口減少や少子高齢化が進んでも財政負担の軽減が図れます。
- ③ 消防救急無線のデジタル化整備と消防指令センターの一本化により、経費の軽減が図れます。



お問い合わせ先

上伊那消防広域化協議会

☎ 0265-98-7893

FAX 0265-98-7894

✉ kamiina-f-wide@dia.janis.or.jp

伊那消防組合消防本部

☎ 0265-72-0119

FAX 0265-72-0712

✉ inafu@119honbu.inacity.jp

伊南行政組合消防本部

☎ 0265-81-0119

FAX 0265-83-5240

✉ fdinan@cek.ne.jp